

一、想いは行為となり 行為は習癖を生む
習癖は品性を作り 品性は人生を決す

二、眼に見えるものも見えないものも

近くに住むものも遠くに住むものも

すでに生まれたものもこれから生まれ来るものも

生きとし生けるものにしあわせあれ

— スッタニパータ

三、たゞわが身をも心をもはなちわすれて仏のいへになげ

いれて仏のかたよりおこなはれてこれにしたがいもてゆく

ときちからをもいれずころをもつひやさず—

生死をはなれぬ仏となる

— 正法眼藏「生死」

四、身心徒に放捨すること勿れ 人人悉く道器なり

只子細に参ると不参るとに依て 徹人未徹人あり

必ずしも人を扱ふに非ず時を扱ふに非ざることを

今の因縁を以て知るべし

— 伝光録「第十章」

寂我入位

悟
十
輪
罪

煩
心
念
子
如

理
解
寂
靜

我
行
無
我

諸
業
無
常

我
心
空
我
心
空

靜因 成願寺 相原昇 明
伊豆の国市